

第1回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成20年10月14日（火）午後7時00分～午後9時15分

場 所：市役所3階 第4会議室

出席委員：8名

欠席委員：1名

傍 聴：2名

事務局：4名

会議資料：①国立市南部地域整備基本計画策定に向けた市民討議会実行委員会設置要綱
②国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会委員名簿
③国立市議会傍聴規則
④国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会スケジュール（案）
⑤市民討議会の準備について
⑥市民討議会実行委員会の運営について（小針委員資料）

司会進行：1～4は事務局（田辺建設部長）、5～6は実行委員会委員長

1. 開会挨拶（田辺建設部長）

- ・あいにくの天気の中お集まりいただきありがとうございます。
- ・委員長が決まるまで、司会として進めさせていただきます。
- ・本日は、松浦委員が欠席で、小針委員及び米田委員が遅れるとの連絡をいただいております。

2. 委嘱状の交付について

- ・田辺建設部長から各委員に委嘱状を交付した。
- ・内容に先立つ確認として、議事録の作成のために録音させていただくことを説明し、了解された。
- ・配布資料の確認（事務局）

4. 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長の選出と副委員長の選出を一括して審議することをお願いし、了解された。
- ・国立市南部地域整備基本計画策定に向けた市民討議会実行委員会設置要綱第5条第2項の「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」との規定に基づき、まず選出の方法について諮ったところ、始めに立候補を受け付け、立候補がなければ

推薦を受けることで確認された。

委員長の選出

- ・委員長の立候補を募ったところ、小林委員から立候補があり、委員全員の拍手により決定された。

副委員長の選出

- ・副委員長の立候補を募ったところ、立候補及び推薦がともになかった。

【主なご意見】

- ・委員長は市民討議会の経験がある立川青年会議所委員から選出されたので、副委員長は公募市民の委員から選出されるのが良いのではないかと思う。
- ・公募市民4名の内から副委員長をから選出したほうが良いと思うが、公募市民は市民討議会という方法に関して知識が少ないので、運営に寄与できる自信がない。
- ・欠席の公募市民委員がいるので、次回の実行委員会で決めてはどうか。なお、次回は欠席でも選考対象となるという取り決めとしたらどうか。

【集約】

- ・次回の実行委員会で公募市民委員の中から選出することで確認された。

5. 市民討議会の準備について

(1) 実行委員会の進め方

①会議の公開等について

- ・事務局から次のとおり提案を行った。

実行委員会は公開としたい。

傍聴者対応は、市議会の傍聴規則を準用して取り扱うこととしたい。

議事録は市のホームページに掲載する。

報告書の作成を見据え、実行委員会風景の写真撮影をご了承願いたい。

【主なご意見】

- ・傍聴規則を準用していくことで良いと思う。
- ・議事録は公開されるので議事録の確認が必要となるが、確認の方法は、委員全員から確認を得る方法と、委員長のほかに毎回1名を指名して委員長と指名委員の2名が確認する方法とがあるが、迅速な情報提供という観点からは前者は劣る。
- ・議論の中身によって地域の利害関係が生じることも予想されるので、全員で確認してから公開するほうが良いと思う。
 - 市が設置している他の各種委員会等では委員全員の確認を得て議事録を公開している。
 - 議事録の作り方は、全発言記録ではなく要点記録を予定している。
 - 会の開催とは別途とし、議事録が完成した段階で、委員の皆さんにメール又はFAXでご確認をお願いしたい。日を指定してご回答をいただくことをお願いする

と思う。

- ・議事録は、ホームページのみの公開で考えているのか。
→まちづくり推進課事務室の窓口でも公開する考えである。

【集約】

- ・議事録の公開は、委員全員の確認を得てから公開することで確認された。
- ・その他の内容については、事務局提案のとおりで委員会を進めることで了解された。

- ・事務局から議事録の作成における発言者委員名の記載の取り扱いについて審議をお願いした。

【主なご意見】

- ・個人名の記載が必要あるのかと考えると、必ずしも必要性がないのであれば記載不要と思う。
- ・発言者の名前が記載されていないと、議事録を読む際に、誰が何を言ったかがわからなくなる心配がある。A、B、C等の記号などで発言者の違いがわかることが必要ではないか。
→議事録はストーリー性のある応答のわかるような全言記録ではなく、決定事項や重要事項や注意点などの要点記録を予定している。そのまとめ方についても、第1回実行委員会の議事録をご覧になってご意見いただきたい。初回は公開までに少し時間がかかるかもしれないが。
- ・他市の市民討議会実行委員会の記録等がHPに載っているが、そのような表現をイメージすればよいか？
→そのように考えている。
- ・議事録の送信はワードファイルではなくテキストファイル添付としてほしい。

【集約】

- ・議事録における発言者委員名の記載の取扱いについては、事務局から提案のあったとおり、議事録が完成した段階で事務局からメール（テキストファイル添付）で送信してもらい、内容を確認することで確認された。

②スケジュール案について

- ・今後のスケジュールについて、事務局から資料に基づき説明した。

【主な質疑】

- ・庁内検討会、市民検討会とはどういう会議か？
→庁内検討会は庁内のまちづくりに関係する課長職が集まり、昭和59年3月策定の国立市南部地域開発整備基本計画の評価や課題の抽出や今後の計画などを具体的に検討する会である。市民検討会は庁内検討会と同じ内容を市民の目線で検討していただく組織で、南部地域の住民の方を中心に11月中に発足する予定である。

る。両者でやりとりしながら進めていく予定である。なお、市民討議会の成果は庁内検討会や市民検討会へフィードバックしていくことを考えている。

- ・市民検討会のメンバーは南部地域の人に限定されているのか？

→自治会推薦のほか、大規模企業や学校関係団体などの代表の方にも集まっていた
だく。ほかに公募市民として、北部地域から3名、南部地域から3名を予定して
おり、10月20日号の市報に掲載される。

【集約】

- ・スケジュールについては、基本的には資料のとおりで進めることで了解された。

(2) 市民討議会の準備について

①名称について

【主なご意見】

- ・立川青年会議所が国立市内で実施する場合には「国立市民討議会 well voice」という名称で実施する。
- ・できれば日本語のほうが好ましい。
- ・現時点での正式名称は「国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会」である。
- ・市民にわかりやすい名称が良い。
- ・他市の事例では、三鷹市が「まちづくりディスカッション」、町田市が「わいわいミーティング」、日野市では「市民討議会inひの」という名称である。行政が好む言葉もある。
- ・国立には「わくわく塾」という取り組みがあるので、「わくわく」が使えるかもしれない。
- ・市民討議会は毎年実施するのか？
(→小林委員長から、今後については未定であるとの発言があった。)
- ・内容をもう少し煮詰めてから名称を考えてはどうか。
- ・今日提起されたばかりで妙案が浮かばないため、次回に一人1案以上持ち寄ることにしてはどうか。

【集約】

- ・第2回実行委員会に一人1案以上の名称案を持ち寄り、再検討することで確認された。

②開催日程について

【主なご意見】

- ・2月28日、3月1日は月末なので、自営業の方が参加しにくい可能性がある。
- ・2月14日はバレンタインデーなので、若い人に敬遠される心配がある。

- ・お祭りなどの地域行事や谷保天満宮の節分行事などとも重ならないか調べる必要がある。
→事務局で確認する。
- ・会場は、公民館を2月7日、8日のみ仮予約してあるのか？
→公民館は2月の他の土日は全て埋まっている。他に人が集まれる場所として福祉会館も確認したが、全候補日が埋まっていた。
- ・市民討議会の時間帯は討議のテーマ数（コマ数）によって決まるため、内容検討後に時間を決めると良いと思う。
- ・他市の事例を参考にすると、参加者のことを考慮した場合に、3コマ+4コマ、3コマ+3コマ、参加者に無理をお願いして4コマ+4コマといった3つのパターンとなると思う。

【集約】

- ・市民討議会の日程は2月7日、8日と2月21日、22日に絞り込んだ。なお事務局にて地域や学校等の行事の有無を調査し、次回の実行委員会で決定することで確認された。

③開催規模について

【主なご意見】

- ・1,000通の案内を出して参加承諾が50名に満たない場合は追加抽出するのか？
→案内送付予算は1回分しか確保していない。PRに努めて承諾者を増やしたい。
- ・他市の実績では、小金井市は2,000通の案内に対して48名の参加承諾、日野市は1,000通の案内に対して58名が参加承諾し、当日は43名が参加、町田市は学校行事と重なってしまい当日の参加者が38名ということである。
- ・事前PRや開催場所によっても応募数が変わってくる。日野市の例では、京王線沿いの会場で開催したときに、JRの駅から送迎バスを出した。
→参加承諾者が極端に少ない場合は市民討議会の結果の取扱いも難しくなることが予想されるため、参加承諾者数が目標に満たない場合は追加の抽出も視野に入れざるを得ない。
- ・立川青年会議所では、主催者側がポスティングし、予算をかけずに追加募集をした。
- ・統計学上は100名以上が有効と言われているが、一方ワークショップの専門家によると50名以上の集団になればワークショップの内容に差異がなくなるとのことなので、経験からも50名規模が想定される。実態は50名以上できちんとやっている市民討議会の事例は半数くらいである。
- ・土日連続で参加しないと参加人数としてカウントできないのだろうか。
- ・他市の事例では、連続参加の取扱いは様々であり、三鷹市では1日のみの参加も認

め参加費を半額としていたが、日野市では2日間の連続した意見を求めたため1日のみの参加は認めていなかった。

- ・50名を目標としてはどうか。50人に満たない場合、追加予算が必要となってしまうが、追加抽出していただくのが良いと思う。
- ・会場の場所や会場までの交通手段によっても参加率に影響を受けると思うので工夫が必要である。
- ・開催会場は、市民討議会の対象でもある南部地域の施設のほうが良い。

【集約】

- ・参加承諾数は資料の通り1,000通の案内に対して50名とすることを旨とする点で確認された。

④予算について

- ・事務局から資料に基づき、立川青年会議所との役割分担という形で説明した。予算額については今後明らかにすることを説明した。

【主なご意見】

- ・南部地域の会場で開催する場合、市域北部の参加者のための国立駅からの送迎バスについて、事務局で検討してもらいたい。
→事務局で検討する。
- ・南部地域内の施設で開催できれば、1コマを現地見学に充てることも考えられる。
- ・参加者手当の支払いは、2日間連続の参加を条件とするか？
→実行委員会で決定することではあるが、なるべく多くの方に参加していただきため1日の参加でも認めて3,000円を払うことも考えられる。
- ・情報提供者への謝礼はどのくらいで誰が負担するか？
→資料から漏れているが、市負担で6名分として31万2千円を予算化している。
市が学識者へ支払う一般的な講師謝礼と同等額で考えている。
- ・参加者手当でも実行委員会で決定することだと思いが、金額も参加意向に影響する。
2日間で6,000円は他市と比較して低めである。金額での積み上げが難しい場合は市の関連施設等の優待券等を添えることも検討すると良い。三鷹市では2日間で8,000円の謝礼にジブリの森美術館入場券を加えたため、参加者は魅力を感じたようだった。

【集約】

- ・予算については、主に費用負担の役割分担という理解のもとに資料のとおりで了解された。
- ・送迎バス及び参加者手当（補足分）は事務局で検討することとなった。

⑤テーマの選定について

- ・事務局から資料に基づき4つのテーマを提案した。

【主なご意見】

- ・テーマは事務局が決めることか、実行委員会で決めることではないのか？
→事務局から4つのテーマを提案しているが、あくまでも提案であり、実行委員会で審議願ひ、決定していただきたい。
- ・1テーマ（1コマ）あたりの時間は、全員への情報提供が30～40分、5人1組の討議が50～60分程であり、発表と投票等を含めると100分前後で組み立てるのが通常である。
- ・2日間開催なのであと2つほどテーマを設けてはどうか。
- ・情報提供の方法としては、1つのテーマで2名程度から情報提供を受けるやり方が良い。例えば、南部地域の魅力というテーマについて、「自然の魅力」という観点からの情報提供と「開発ポテンシャルとしての魅力」という観点からの情報提供などが考えられる。対立する点があるかもしれないが、両立の可能性を市民に考えていただくことができる。
- ・南部地域については「自然環境の保全」という視点と「望ましい開発」という視点があると考えられるので、事務局の提案を生かしつつより具体的な言葉をテーマの中に盛り込んで議論を誘発させたほうが良いのではないか。
- ・情報提供者は決まっているか？
→現時点では未定であり、今後の実行委員会で決めていただくことで考えている。
- ・庁内検討会や市民アンケートの結果等を踏まえたり、地元の声などを知ったうえでテーマを検討したい。
→市民アンケートは市民討議会のテーマと関連づけて行いたいと考えている。住民の声という点では、8月に実施した「国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う説明会」の記録を情報提供できる。
- ・他市の事例でも、直前までテーマについて議論しているので、テーマは年内に決めることを目標としてはどうか。

【集約】

- ・テーマは2日間で6テーマを設けることを目標として、事務局案の4点を補完したり肉付けしたりするような内容で次回以降検討していくことで確認された。

6. その他

- ①第2回実行委員会は11月6日（木）19時から開催することで確認された。
- ②事務局から国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う説明会の議事録（要旨）を郵送すること、次回の資料として、南市民プラザの位置図と使用室の大きさのわかる図面を用意することとした。

以上